

第2学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)
授業者 〇 〇 〇 〇

1 主題名

自己の向上を目指して 「A-(3) 向上心, 個性の伸長」

2 ねらいと教材

(1) ねらい

自分の個性とその伸長について考え, 個性を生かして生活していこうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

(2) 教材名

「この人に学ぶ メッセージ 山中伸弥」 (文部科学省 私たちの道徳 中学校)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

「個性を伸ばす」とは, 固有の持ち味をよりよい方向へ伸ばし, より輝かせることである。自分自身で嫌だと思っている所も, 見方を変えて磨きを掛けることで, 輝く個性になり得る。個性を伸ばすためには, 自己を見つめ, 自己の優れている面の発見に努めるとともに, 短所も自分の特徴の一側面であることを肯定的に受け止めさせる必要がる。人生において, 誰もが様々な困難に直面することが考えられるが, その際, 個性を生かして対処していくことが, よりよい人生につながるものとする。中学生の時期に, 自分の個性について理解し, それを生かして, これからどのように生きていくか考えさせることは, とても重要であるとする。

(2) 生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の生徒は, 中学校1年次に学級活動の「自分を知ろう」において, 自己を振り返り, お互いに認め合う活動をしており, 長所と短所については, ある程度理解してきている。自分の個性を理解し, それを生かして学習や行事に取り組んだり, 部活動で活躍したりできている生徒がいる反面, そうできていない生徒もいる。また, 個性を生かして将来どのように生きていくかについて考えている生徒は多くない。昔の成人に当たる中学2年生という時期に, 将来について見定め, 自分の個性を生かしてどう生きていくか考えさせ, 具体的に行動していこうとする実践意欲と態度を育てたい。

(3) 使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法

本教材は, iPS細胞の研究でノーベル生理学・物理学賞を受賞した山中伸弥さんの話である。初め整形外科医として勤務していたが, 手術がうまくできず時間が掛かってしまうという壁にぶつかる。あるとき, 手術では治せない患者さんに出会い, 研究者としての道を歩むことを決め, 苦労の末にiPS細胞を見付けるという話である。展開前段では, 山中さんの話であることが分からないよう「主人公」とし, 壁にぶつかった場面まで分割提示する。それによって, 困難に直面したとき, どのような対処の方法があるのか考えさせ, 多面的・多角的な意見を出させたい。展開後段では, 山中さんの決断や成功までの過程を知り, 山中さんの人生について考えさせることにより, 個性を生かして生きていくことについて考えを深めさせたい。また, 終末においては, 12月に行われる立志式と関連付け, これからの将来についても見通しを持たせたい。

4 学習指導過程

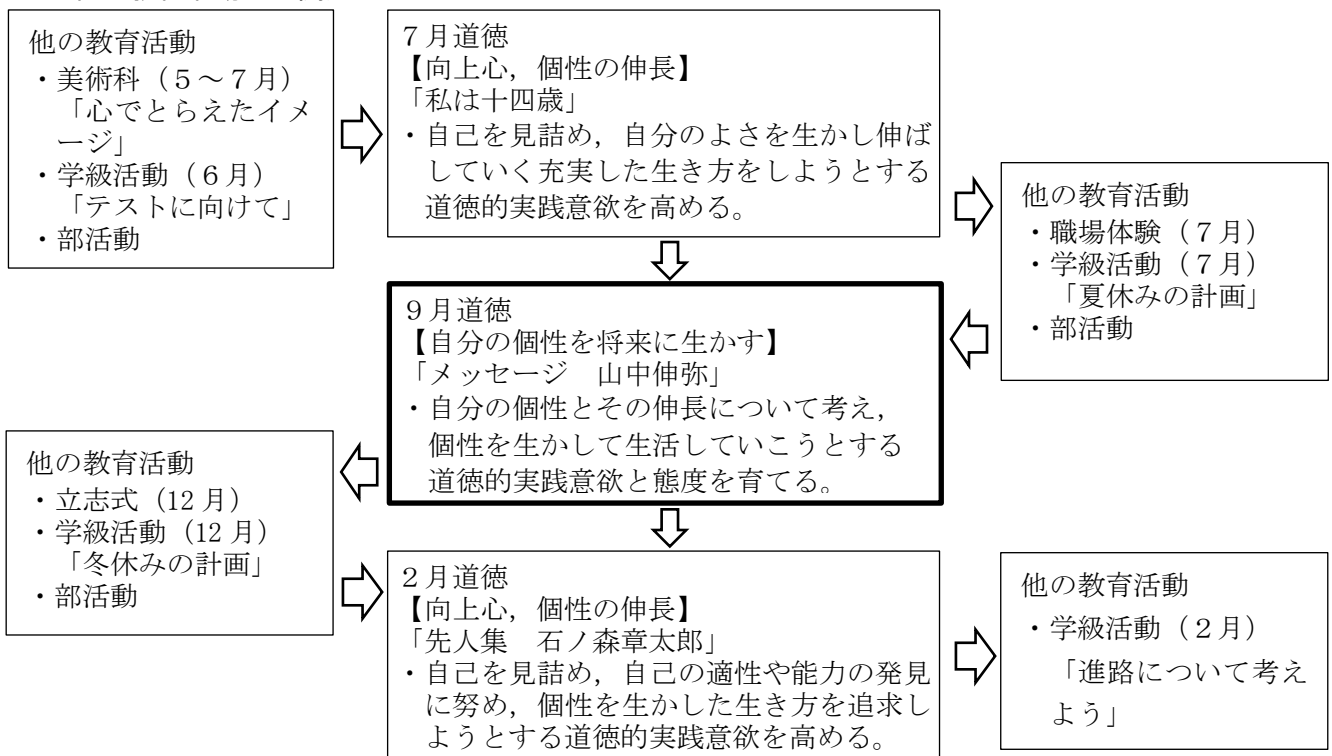
| | <p style="text-align: center;">学習活動</p> <p>○主な発問（◎中心発問）・予想される反応</p> | <p style="text-align: center;">指導上の留意点</p> |
|--|---|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">導入 5分</p> | <p>1 これまでの生活を振り返り、主題への興味・関心を持つ。</p> <p>○ 今までに何か壁にぶつかったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動でうまくできなかった。 ・テストの点が悪かった。 ・運動会で隣の学級に勝てなかった。 <p>2 課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">個性を生かした生き方について考えよう。</div> | <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活につなげさせるため、部活動や学習面、直前に行われた運動会などについて振り返らせ、うまくいかずに悩んだことについて共有させる。 ・個性は人それぞれで、壁をどう克服するかについても人それぞれであることを確認しておく。 ・長所と短所についても、自分で分かっているかどうか簡単に挙手させる。 |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開 前段 15分</p> | <p>3 資料を読み、登場人物の心情を捉える。</p> <p>○ 「ジャマナカ」と言われた時の主人公は、どのような気持ちだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう嫌だと思った。 ・悔しい。 ・もっと練習してうまくなりたい。 ・自分は医師をされていてよいのだろうか。 ・父に申し訳が立たない。 <p>○ 主人公は、この困難に対して、どのように対処したと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頑張って努力し、医師を続けた。 ・医師の道を諦めた。 ・別の科の医者になった。 ・別の仕事に就いた。 <p>○ この困難に対して、あなたなら、どのようにしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきらめずに医師を続ける。 ・あきらめて別の職業に就く。 ・休みをとって充電する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・山中さんは、ノーベル賞を受賞した偉人であるがゆえに、山中さんの人生の岐路における決断（整形外科を続けないこと）が生徒に大きな影響を与えてしまう恐れがある。これを回避するために、展開前段の場面における範読は、「山中さん」を「主人公」にして読む。1段落目は省略し、3段落目の最後まで読む。（部分削除と分割提示）また、主人公の顔写真も黒板に提示するが、隠しておく。 ・主人公の気持ちを理解できるよう、生い立ちについて補足説明を入れる。 ※柔道やラクビーで骨折が多く、そのとき世話になったので医師を目指したこと。 ※父親が医師になるのを期待していたこと。 ※機械いじりや科学が好きだったこと等。 ・主人公の気持ちがなかなか理解できていない学習状況が見られるときの問い返しの発問 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動や係活動などで、チームメイトからじゃま扱いされたら、どのような気持ちになりますか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・個性をどのように生かして対処するか考えさせるために、主人公の生い立ちにも再度触れる。 ・多面的・多角的な意見が出るようにするため、自分との関わりで考えさせる。 ・多様な意見に触れさせるため、個人で考えた後、ペアでも情報交換をさせる。 ・自分との関わりで考えられない場合の問い返しの発問 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・乗り越えるだけが正解ですか。 ・自分だったら乗り越えられますか。 </div> |

| | | |
|--------------------------|--|---|
| <p>展開 後段 25分</p> | <p>4 資料の後半を読み、山中さんの人生について考える。</p> <p>◎ 困難に直面したときに大切な事は何でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分を知り、自分なりの答えを出すこと。 ・ 人と協力して克服すること。 ・ あきらめずに努力し続けること。 ・ 時には立ち止まったり、方向転換してみたりすること。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料後半を読む。（4段落目から「最後は人の役に立って死にたいです。」まで） ・ 範読後、主人公は誰なのかクイズを出す。 ・ 「山中伸弥さん」との解答が出てから i P S 細胞やノーベル賞受賞について等補足説明と板書を行う。 ・ 考えの視点を広げるための問い返しの発問。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人それぞれ対処の仕方は違うのではないのでしょうか。 ・ 自分一人で困難に対処しなければならないのですか。 ・ 対処するときに自分の長所はどう役立つのか考えてみてはどうですか。 |
| <p>終末 5分</p> | <p>5 学習を振り返り、自己の生き方について考える。</p> <p>○ 今日の授業で学んだことを踏まえ、これからどのような将来にしていきたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分は好きなことを続けるのが得意なので、何事にもあきらめずに頑張りたい。 ・ 時には立ち止まったり、考えを変えたりしながら将来の目標に向かって生きたい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 個性の伸長について考えるヒントにさせるため、私たちの道徳 p.43 の名言を紹介する。 ※困難に対してあきらめずに乗り越えたウォルトディズニーの例。 ※困難があっても様々な仕事を経験し最後に成功したカーネルサンダースの例。 ・ 本時で考えたことを、今後の生活や将来に生かしていこうという気持ちを持たせるために、立志式についても触れ、個性を生かした生き方について考えさせる。 |

【評価】

個性を生かした生き方について、自分との関わりで考える学習を通して、多面的・多角的に考えようとしていたか。

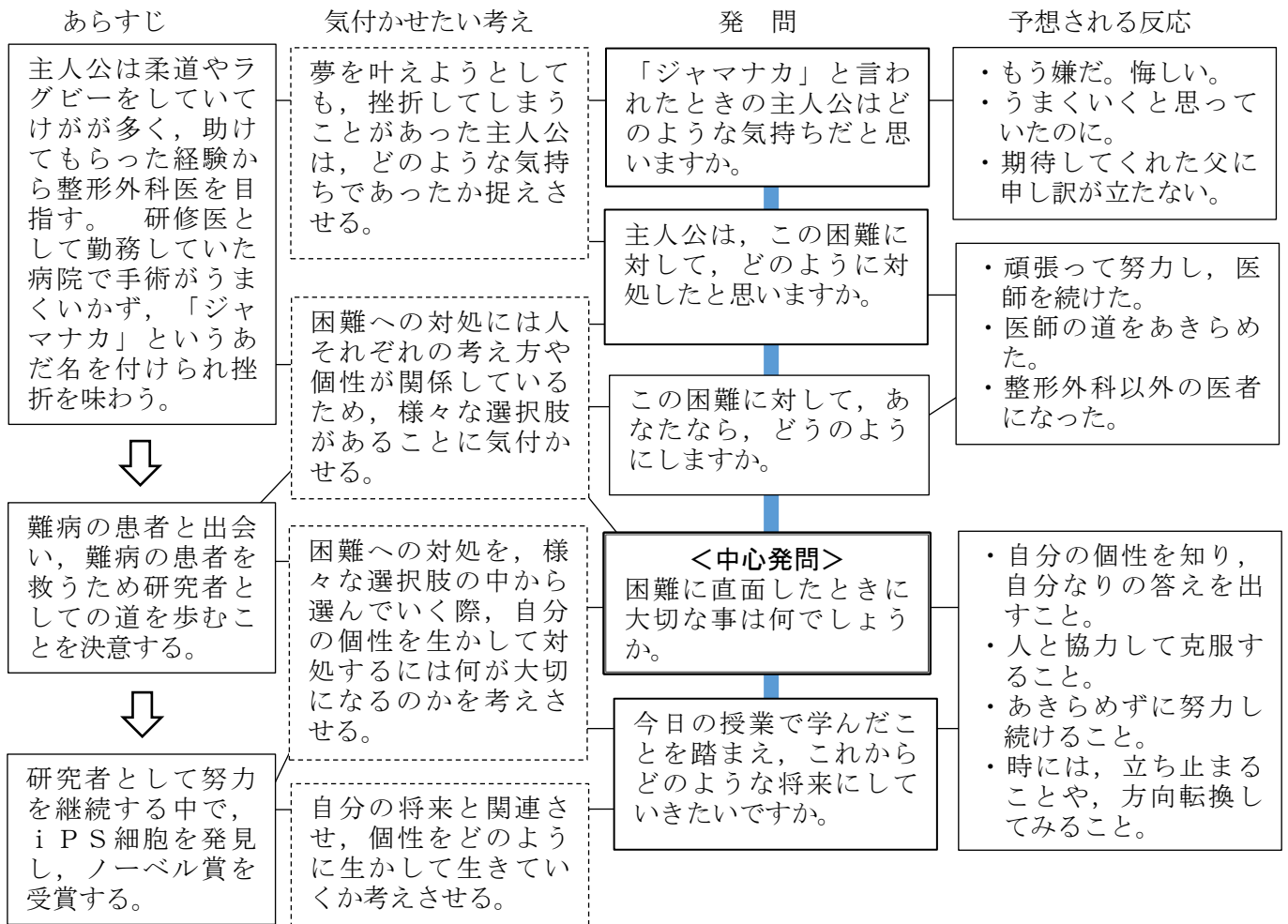
5 他の教育活動との関連



6 補充・深化・統合の視点【深化】

この教材は、「個性の伸長」をねらいとして扱うが、これからの生き方に深く関わる内容であり、「よりよく生きる喜び」や「希望と勇気、克己と強い意志」などとも関連する。人生の選択肢は一つではなく、困難を自分の個性を生かしてどう乗り越えるかということに焦点を当てて考えさせたい。各教科や学級活動、部活動等で学んだ個性の大切さを確認しながら、個性の生かし方について考えを深めたい。

7 教材分析・発問構成



8 準備物

教師：私たちの道徳、山中さんの顔写真

生徒：私たちの道徳

9 実践の記録 (○成果, ●課題)

【板書】

前半の発問を生かすため、山中さんの写真は、後半の発問まで隠しておく。

折れ線を利用し、山中さんの生い立ちを分かりやすく提示した。

個性を生かした生き方について考えよう

○主人公はどう対処したのか?

写真 山中さん

医者をやめた。
別の職業(教師)
道場を開く
医者と続ける

小学校
科学少年
機械のいじり

中学校
柔道

大学
ラグビー
医大

研修医
挫折

研究者
iPS細胞
ノーベル賞
石研室

医学に片入

個性を生かすとは?

授業に集中しよう

(1) 導入

主題への興味・関心を高めた

日常生活につなげさせるため、直前に行われた運動会、部活動や学習において壁にぶつかった経験を問う。長所と短所についても分かっているか挙手させ、主題への意識付けを図る。

- 日常生活を振り返らせる場面では、部活動の例を挙げたとき一番反応がよかった。
- 長所と短所についても確認したが、授業で突然聞かれたためか、自分の長所を認識している生徒がほとんどいなかった。事前にアンケートを取り、全体としてどのような長所や短所があるのか提示することで、自分の長所や短所に気付く生徒が増えたかもしれない。

(2) 展開

資料を分割提示し、中心発問につなげた

山中さんは、ノーベル賞を受賞した偉人であるがゆえに、山中さんの人生の岐路における決断（整形外科を続けないこと）が生徒に大きな影響を与えてしまう恐れがある。これを回避するために、展開前段の場面における範読は、「山中さん」を「主人公」にして読む。1段落目は省略し、3段落目の最後まで読む。（部分削除と分割提示）また、主人公の顔写真も黒板に提示するが、隠しておく。壁にぶつかった場面まで提示することにより、様々な対処法を出させる。

- 主人公の生い立ちについて説明を加えたため、医師を続けるかやめるかだけでなく、柔道経験を生かすという意見など、壁にぶつかったときの対処法として様々な意見を出すことができた。
- 「あなたならどうするか」という自分との関わりで考えさせる発問をしたところ、「医師をやめる」といった、人間理解に関する意見も出され、多面的・多角的な考え方に触れさせることができた。
- 資料を分割提示し、後半の範読後主人公が誰であるかクイズを出したが、山中伸弥さんを知っている生徒がいなかった。社会の出来事に関する生徒の関心について、調査しておく必要があった。

(3) 終末

名言や偉人の生き方を活用した

終末では、個性を生かしてどう生活し、どのような人生にしていきたいか考えさせるため、私たちの道徳における関連ページの名言を紹介した。また、個性を生かしながら1つの夢に向かってあきらめずに取り組んだウォルト・ディズニーと様々な経験をしながら成功につなげたカーネル・サンダースの例を挙げ、振り返りにつなげさせた。

○ 挫折してもあきらめずに続けることや長所と短所を理解して努力を続けていくことなど、個性を生かした生き方をしていくことの大切さについて気付くことができた。

● 自分の長所や短所について認識できている生徒が多くないため、自分の個性を具体的にどう生かすかといったところまで考えが及ばず、深まらなかった。

生徒の感想

- ・とにかくチャレンジし、自分の好きなことを見付けたい。
- ・いろんなことにチャレンジして、好きなことや嫌いなことを見付け、自分について知る。
- ・自分の長所で人のためになることをすること。
- ・自分の個性はいろいろな場面で生かすことができるということが分かった。挫折を味わってこそ、よい体験ができると思うので山中さんを見習いたい。
- ・自分の趣味や経験を生かす。
- ・自分の弱点で自分の将来も変わることが分かった。長所も短所も全部まとめて、人一倍努力することで生かせると思った。